

「宝塚エネルギー2050ビジョン(案)」に対するご意見と市の考え方について

1 パブリック・コメントについて

- (1)意見募集期間 平成26年(2014年)10月24日～平成26年(2014年)12月5日
- (2)意見提出者数 7人
- (3)提出意見件数 11件

2 意見の趣旨及び意見に対する市の考え方

No	主な該当箇所	意見の趣旨(概要)	意見に対する市の考え方
1	第1章(ビジョンの基本的事項)	<p><IPCCが危惧する温暖化リスク> 今後、予想される「世界規模・地球規模での気候変動」のおよぼす自然的災害や人工的災害の発生</p> <p><宝塚市の特徴的地域区分> 宝塚市温暖化対策実行計画(10ページ) 地域特性に応じた住宅施設・商業施設・産業施設のエネルギー施策とともに、災害発生時のことも視野にした「インフラ対策も連携した多角的な事業」の推進をお願いいたします。</p>	<p>【ご意見いただき、ありがとうございます。ビジョン(案)は原案のとおりとしますが、ご意見に対してお答えします。】</p> <p>このビジョン(案)では、既に策定されている第2次環境基本計画、地球温暖化対策実行計画においても太陽光発電など新エネルギーの導入の促進が掲げられていることを前提にしており、関連施策としての位置づけを記載しています。これからも関連施策(関連計画)として、各種施策や取組を進めていく考えです。</p>

No	主な該当箇所	意見の趣旨(概要)	意見に対する市の考え方
2	<p>第1章(ビジョンの基本的事項)、第2章(宝塚市の現状)、第3章(再生可能エネルギー政策の目的と将来像)</p>	<p>国の「エネルギー基本計画」に先行して、「宝塚エネルギー2050ビジョン(案)」で長期目標値を設定しておられますが、バックキャスト手法を用い、目標達成、持続するために逆算した課題抽出が不可欠です。課題解決の、仮定による前提条件が資料には記載が無く分かりません。広報等でご説明頂けませんでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国策(どのような国策を前提として目標を設定したか) ・経済状態(国民/市民の経済状態が前提項目とならないか) ・人口減少・高齢化(2050年には社会構造が大きく変化していないか) ・宝塚市の総合計画との整合(まちづくりの検討が先ではないか) ・宝塚市内のエネルギー体系(劣化・寿命を含めてどのような技術的体系を前提としているか) ・宝塚市民の考え方(市外から安く再エネを購入しようとした場合の市外の方の理解や市民の考え方についてどのような前提としているか) ・推定費用負担額(目標を達成するための費用負担はどの程度を前提としているか) ・広報(広報の方法について更なる努力をお願いしたい) 	<p>【ご意見いただき、ありがとうございます。ビジョン(案)は原案のとおりとしますが、ご意見に対してお答えします。】</p> <p>国が定めた「エネルギー基本計画」による再生可能エネルギーを重要な低炭素の国産エネルギーと位置づけていることを前提としていますが、今後のエネルギーに関する世界の動向や国の政策は変動要因が多く、市民生活を守るために地方公共団体が自ら目標や将来像を示し、方向性を定めて継続的に施策や取組を進める必要があるため、このビジョン(案)策定を目指しているものです。</p> <p>その際、国としての再生可能エネルギーの導入目標やロードマップ、規制や制度の見直しの必要性を今後の課題として挙げています。また、経済状態や人口の推移は現状分析を前提にしています。</p> <p>宝塚市における環境施策は総合計画を最上位の計画と位置付け、現在、策定に向けて検討が進められている第5次宝塚市総合計画後期計画とこのビジョン(案)が連携できるよう、対象期間を2020年度までとし、調整を図っています。</p> <p>高度な送電や蓄電等の技術的な前提はこのビジョン(案)では特に想定を行わず、国内外のエネルギー政策の動向や地球温暖化対策をもとに必要な見直しを行っていくことを記載することに留めています。</p> <p>持続可能なまちづくりのため、再生可能エネルギーの優先的な消費に努めていくことなどは、宝塚市再生可能エネルギーの利用の推進に関する基本条例で規定しています。費用負担については、今後の動向として電力小売自由化を含む法改正等も注視していく必要がありますが、市の予算を大規模に投入して再生可能エネルギーを進めるのではなく、再生可能エネルギーに取組んだ方が経済的に利益を得られるような取り組みを後押しする制度支援を行うことを想定しています。</p> <p>中長期的には、再生可能エネルギーの導入時の価格低下等により、現在の国の制度である固定価格買取制度が変更され一層の社会的な費用の削減に向かうと考えられます。</p> <p>広報については、広報誌、市ホームページ、フェイスブックで随時情報発信や情報交換に努めており、このビジョン(案)についても適切な広報に努めてまいります。</p>

No	主な該当箇所	意見の趣旨(概要)	意見に対する市の考え方
3-1	第1章(ビジョンの基本的事項)	<p>「Think Globally, Act Locally」・・・とは言うものの、環境問題を知るにつけて、それを取り巻く事象の多さと、その影響する空間の大きさ、時間の長さに驚愕します。その様な状況の中にあつて、人間一人が出来る事の無力さを痛感させられ、途方に暮れてしまいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化、生物多様性への取り組み ・有害な化学物質や廃棄物、そして大気汚染等の公害への備え ・食糧自給やフードロス等の食糧問題 ・化石燃料の枯渇や原子力の是非等のエネルギー問題 <p>これら様々な課題がある中で、私たち一人ひとりが足元から行動して、地球規模でそれらの環境に目に見えて良い影響を与えられる物って、何だろう？と考えた時、それはエネルギー問題ではないだろうかと思いました。</p> <p>環境に優しい再生可能エネルギー100%で宝塚市域のエネルギーを賄う事。誰からの影響も受けない自立性と、自給自足による低コストで安全・安心なエネルギー供給システムの実現。それを宝塚から日本国内はおろか、世界に向けて発信していくこと。それこそが、地球規模での様々な環境問題を少しでも軽減させ、解決させていくために、今、私たちが成し得る最高のパフォーマンスなのではないかと思えます。</p> <p>今回の「宝塚エネルギー2050ビジョン(案)」は、2050年でのあるべき姿を先に掲げて、そこに至るまでの過程を数値によって詳細にシミュレーションしており、そのベースにある考え方やアプローチの仕方には大賛成です。また、個々の数値目標の作成・設定は、さすが自治体ならではの感心いたします。大きな流れについて異存はありませんが、今後、本ビジョンの実践に取り組んで行く際の考え方として、若干の私見を述べさせていただきたく次に記します。</p>	<p>【ご意見いただき、ありがとうございます。ビジョン(案)は原案のとおりとしますが、ご意見に対してお答えします。】</p> <p>このビジョン(案)では、行政が積極的に再生可能エネルギーを利用する方向性を明記するとともに、その必要性を記載しています。</p> <p>再生可能エネルギーは近年、急速に利用が拡大しており、過去から現在までの延長線上に将来を想定する現状延長型の予測(フォアキャスティング)では振れ幅が大きく、予測が難しくなるため、バックキャスティングの手法を用いているのはご意見のとおりです。</p> <p>今後は行政の担う役割も従来とは変化し、再生可能エネルギー利用を推進していくための制度や場づくりを行っていくことなどであると考えています。</p>

No	主な該当箇所	意見の趣旨(概要)	意見に対する市の考え方
3-2	第5章(エネルギー政策の目標)	<p>◎実践に向けての考え方</p> <p>1)市内の家庭・業務・産業における電気の再エネ活用率について(5.2.2(3)) 図5-7における再エネ活用率の内訳は、2050年での推計としては良いと思います。ただ、今後50年、100年を見据えた中では、年間再エネ生産量に占める業務・産業部門の発電量を増やしていく方向で検討していただきたいと思います。また、市外から供給量を限りなくゼロにもっていけるような絵を描いていくことも、自立した未来社会を想定し、それを意識付けしていく上においては必要なのではないかと思えます。</p> <p>2)エネルギー利用以外の目標について(5.2.3) 再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせた完全自給自足については慎重に行うとの記述があります。この部分は、今後の技術開発に多くを待たねばならぬことは十分に承知しておりますが、現時点のエネルギー効率での費用等のシミュレーションは、常にしておく必要があるものと思います。また、蓄電池と並行して、燃料に水素を使った燃料電池などでの方法を視野に入れてみるのも、一つの選択肢として面白いのではないのでしょうか。いずれにしても、最終目標は常に100%自給自足であってほしいです。</p> <p>3)市民の役割について(6.1.1) 本ビジョンを遂行していく上において、最も重要なことは、市民の意識をどのように変えていけるかなのではないかと思います。環境問題(地球温暖化対策)について宝塚市が市民に対して行ったアンケート調査によると(宝塚市地球温暖化対策実行計画 参照) ・多少の負担があっても行動したい→39.2% ・負担を伴わない程度に行動したい→55.9% この数字をみると、55.9%の人が負担を伴う事には消極的となっております。</p> <p>本ビジョンのベースにあるのは、一般住宅への太陽光パネルの設置であり、こうした市民の初期投資なしには、本ビジョンは成立しないものと思います。そしてそのためには、今後これら多くの市民の「多少の負担を伴った参加」を促していかなければならないと思います。そこで、市民の周知をどのようにしていくかになりますが、市民への働きかけは一律にするよりも、対象を細分化した上でそれぞれに合わせた対策を立てていく方が、より効果的ではないかと思えました。</p>	<p>【ご意見いただき、ありがとうございます。ビジョン(案)は原案のとおりとしますが、ご意見に対してお答えします。】</p> <p>1)宝塚市における再生可能エネルギー自給率の現状は電気の場合は1.2%、熱の場合は0.6%となっており、今後、省エネルギーの取組を進め、市内における再生可能エネルギー自給率を大きく増やしながら市外からも調達していくことで、再生可能エネルギーの自給率や活用率の目標値を達成していくこととしています。また、可能な限り、市内における再生可能エネルギーの生産で賄っていきたい考えはご意見いただきましたとおりです。</p> <p>2)蓄電池や燃料電池等、技術革新による再生可能エネルギーの普及については、今後、ビジョンを見直すタイミングで必要に応じて盛り込んでいく考えです。</p> <p>3)市民の皆さまの役割は、事業者の皆さまとともに非常に重要であると考えています。費用面のご負担を含めて、持続可能なまちづくりへの考えや方向性を共有した上で、各主体が協働で進めていくことができる施策の実施に努めてまいります。また、長期目標値のひとつに「市民の100%エネルギープロシューマー化」を掲げており、すべての市民の方にエネルギーを購入するだけでなく、エネルギーの生産にも関わっていただきたいと考えています。</p> <p>※エネルギープロシューマー化 エネルギーの消費者であるとともに太陽光発電や太陽熱利用システムでエネルギーを生産したり、再生可能エネルギー事業に出資したりする生産者ともなり、なおかつ既存のエネルギー生産システムに対する提案や要求を行い、変化を働きかけるスマートな市民を指します。</p>

No	主な該当箇所	意見の趣旨(概要)	意見に対する市の考え方
3-3	第6章(目標達成に向けた各主体の役割と協働)、第8章(対象毎の推進支援策パッケージ)	<p>◎対策案</p> <p>①主婦層への働きかけ 家計を預かっている主婦層への働きかけはとても大切なものと思います。そのためには、初期投資に対する具体的なメリット・デメリットを分かりやすく丁寧に伝えることだと思います。そして、そのことによる未来社会の楽しみを想像し、理解して貰いながら、参加を促していくことです。その一つとしての固定資産税の軽減等は、とても良い試みだと思います。</p> <p>②子どもたちへの教育 地球環境とエネルギー問題の関連をしっかりと教えて、その大切さと共に、今、私たちが住んでいる宝塚市の近未来のあり方(今回のビジョンのような)についての考え方をしっかりと伝えていくことです。環境問題は時間がかかります。50年先、100年先の担い手をつくっていかなければなりません。</p> <p>③若者たちの地元回帰 いかに素晴らしいビジョンであっても、それを着実に実践していく人がいなければ、絵に描いた餅にすぎません。本ビジョンの考え方に賛同できる人が環境やエネルギー関連の仕事に携わりながら、自立して生活ができる社会(市内)環境の構築を図っていくことが大切です。</p> <p>④エネルギー事業者に対する優先性の提示 再生可能エネルギー普及への先行投資をした事業者に対しては、優先権を与える等の提示をしながら、優良で強力なエネルギー事業者を早期に確保した上で、彼らの力をもって市内での広報と雇用の両面での相乗効果を図れるようにする。</p>	<p>【ご意見いただき、ありがとうございます。ビジョン(案)は原案のとおりとしますが、ご意見に対してお答えします。】</p> <p>このビジョン(案)における再生可能エネルギー推進の視点として、①環境・経済・福祉の向上につながるような持続可能なまちづくりに貢献する仕組みを確立すること、②行政の率先行動のみでなく連携を通じて市民・事業者の参画と協働による取組を促進すること、③長期にわたる取組であるために子どもや若年層といった次世代を担う人づくりに努めること、④今後の地域経済の活性化や雇用の促進につながる事業性のあるコミュニティパワー事業を促進することの4つを挙げています。</p> <p>また、対象毎の推進支援策パッケージで人づくり・場づくりパッケージによる支援策も記載しています。これからも各主体の役割や協働を進めながら、様々な層や世代へのアプローチを図っていく考えです。</p>

No	主な該当箇所	意見の趣旨(概要)	意見に対する市の考え方
3-4	第5章(エネルギー政策の目標)	<p>地球規模で起こっている環境問題を少しでも改善したいと思った時、1人より2人、2人より3人、100人、1000人、いっそ市民全員で行動を起こせたら、もっともっと地球規模で良い影響を与えられる!と思いました。</p> <p>そして、成功のモデルケースとして、世界の人たちにそのノウハウを教えてあげられたら...そんなことを思い、何か楽しくなりました。</p> <p>思いに任せて、好き勝手なことを書き綴ってまいりましたが、「宝塚エネルギー2050ビジョン(案)」には、その先駆的な取り組みとして、とても期待をしております。今後、多くの困難な問題が生じてくることもあるとは思いますが、その思いを常に忘れることなく、50年、100年と継続していってくれることを心から願っております。</p>	<p>【ご意見いただき、ありがとうございます。ビジョン(案)は原案のとおりとしますが、ご意見に対してお答えします。】</p> <p>このビジョン(案)では、目指すべき将来像を定め、そこから逆算して課題を抽出し、解決の道筋を検討していく手法(バックキャスト型)を用いており、国内外のエネルギー政策の動向や地球温暖化対策をもとに必要な見直しを行いながら、再生可能エネルギーの利用の推進を図っていく考えです。</p>
4	第1章(ビジョンの基本的事項)、第5章(エネルギー政策の目標)、第6章(目標達成に向けた各主体の役割と協働)	<p>今まではすべて国任せにやってきたエネルギー問題を、自治体がしっかりとしたビジョンを策定して取り組みを進めて行ってくれる事に対し、宝塚市民として誇りに思います。その実施プランについても単に目標値を定めるだけでなくバックキャスト手法を用いて数値化、具体化されている計画はより実現性を高め、「目に見える」取り組みになっていると思います。</p> <p>又、行政主導ではなく、市民を含めた事業者が主体をおいた実施計画は実現する上で多くの人を巻き込む事ができ、エネルギー問題を通じて市民の交流や市内事業の活性化にもつながり大変評価できるものだと思います。</p> <p>但し、その数値目標については達成可能な安全な数字にしかならず、もう少し挑戦的な数値目標があっても良かったのではないかと思います。</p>	<p>【ご意見いただき、ありがとうございます。ビジョン(案)は原案のとおりとしますが、ご意見に対してお答えします。】</p> <p>再生可能エネルギーは近年、急速に利用が拡大しており、過去から現在までの延長線上に将来を想定する現状延長型の予測(フォアキャスト)では振れ幅が大きく、予測が難しくなるため、バックキャストの手法を用いているのはご意見のとおりです。今後は行政の担う役割も従来とは変化し、再生可能エネルギーを利用する積極的な方向性を示し、推進していくための制度や場づくりを行うことであると考えています。</p> <p>また、目標値設定については現状分析から意欲的な目標値として設定しており、その必要性やそれぞれの各主体の役割や協働についてもこのビジョン(案)に記載しているものです。</p>

No	主な該当箇所	意見の趣旨(概要)	意見に対する市の考え方
5	第5章(エネルギー政策の目標)	<p>概要、本編ともに読ませていただきました。 意見として、大規模、コスト高なことは避けたほうがいいのかと思います。 太陽光パネルは寿命が長くない、数年後には全て取り替えなくてはなりません。その負担を個人がするにしろ、市が行なうにしろ、この国にしろ、市にしろ、これといった経済政策が見えないなかでやるのは良策には見えません。むしろ、藤野電力http://fujinodenryoku.jimdo.comなどを参考に市民が使う量が多いなら、DIY感覚でやれる太陽光発電がよいと思います。キットで43,500円で12月15日に東京でWSもあります。(見学1,500円)宝塚市に来て、WSを開いてもらったかどうか？また、『できた！電気代600円生活』著者 はらみづほさんの生活スタイルを参考にしてみるとか、小さく始めるのがいいと思います。 また、講義・イベントでプリント配布式は意味がないように思いますので、それこそ「太陽光パネルとプロペラ(?)か灯りのつくもの」で、実際に見てもらったら、簡単でわかりやすいと思います。</p>	<p>【ご意見いただき、ありがとうございます。ビジョン(案)は原案のとおりとしますが、ご意見に対してお答えします。】 宝塚市では、これまで市民や事業者の皆さまと協働で再生可能エネルギーの導入推進を図っていくためセミナーや懇談会、ワークショップなどを行ってきており、また、小型の太陽光発電設備の組立教室やソーラーカーの組立教室など親子で楽しみながら、再生可能エネルギーを身近に感じていただける取組も行ってまいりました。これからもご意見をいただきました内容も参考に、より多くの皆さまが参加していただける事業の検討を行っていく考えです。</p>
6	第3章(再生可能エネルギー政策の目的と将来像)、第6章(目標達成に向けた各主体の役割と協働)、第9章(市の責務)	<p>人づくりが最大の課題である。 多くの市民の参加を得るには 1. 再生可能エネルギー導入の経済的メリットを向上させる。 投資回収を10年未満にしないと大きな普及率アップは望めない。 買い取り価格などの国への働きかけも重要である。 2. 行政のより主体的、積極的リーダーシップが望まれる。 役所が本気でやる気を見せなきゃ、結局、市民は動かない。 これだけ、日本の社会や生活が厳しくなってきたら、理想論だけでは、非力な小市民は動かないだろう。</p>	<p>【ご意見いただき、ありがとうございます。ビジョン(案)は原案のとおりとしますが、ご意見に対してお答えします。】 このビジョン(案)に掲げる再生可能エネルギー政策の目的は「豊かな環境の自律的維持」「エネルギーの自立性を高める」「災害に強く、安全で安心な持続可能なまちづくり」と記載しています。そのため、市民、事業者、行政などの各主体が一体となり取り組んでいくことが必要です。 固定価格買取制度等の経済的メリットだけではなく、省エネルギーや再生可能エネルギーにより、快適な住環境やオフィス環境をもたらすなど健康や福祉面での効果を含めた総合的なメリットを考えて取組を行うことが大切であると考えています。</p>

No	主な該当箇所	意見の趣旨(概要)	意見に対する市の考え方
7-1	第9章(市の責務)	<p>PART1 宝塚市役所は、地域住民・エネルギー関連団体・地域特性等を有機的に連動させ、再生可能エネルギーの施策及び取組を今後も積極的に推進し、その時々で方向性を示してほしい。期待しています。 再生可能エネルギー担当部署は、今後も「宝塚エネルギー」の取組を促進するため、人材育成に特に配慮していただきたい。 「宝塚エネルギー」のビジョンを展開するため、継続的に「再生可能エネルギー」政策を発展させる体制を創造してほしい。</p>	<p>【ご意見いただき、ありがとうございます。ビジョン(案)は原案のとおりとしますが、ご意見に対してお答えします。】 宝塚市では、「宝塚市再生可能エネルギーの利用の推進に関する基本条例」を制定し、同条例の規定によりこのビジョン(案)を策定しようとしています。同条例及びこのビジョン(案)においても「市の責務」を規定しています。特に再生可能エネルギー担当部署の役割として、①推進支援策パッケージによる枠組みづくり、②利害関係者と市民を集め、公正で透明な合意形成の場づくり、③推進支援策実現のための内部調整と制度整備、④継続的な取組のための人材育成の4点を記載しています。 今後も継続的に再生可能エネルギー政策を発展させ、長い期間をかけて市の責務や再生可能エネルギー担当部署の役割を實踐できる取組を行っていきたいと考えています。</p>
7-2	第9章(市の責務)	<p>PART2 宝塚市役所は一級河川である武庫川の右岸に位置しています。市歌にも『～武庫の流れも映ゆるまで～』と詩(うた)われていますように、日本の誇る『再生可能エネルギー』を見逃すわけにはいきません。宝塚市役所職員として、当然の責務です。 宝塚から日本全国に「安全と水」は無料(タダ)と言われていますが、さらに「電気も無料(タダ)」とさえ言われるようなエネルギー政策を期待したい。具体的には小型発電設備の構築が必要。</p>	<p>【ご意見いただき、ありがとうございます。ビジョン(案)は原案のとおりとしますが、ご意見に対してお答えします。】 宝塚市における再生可能エネルギーの利用可能性について、省エネルギーを前提とした再生可能エネルギー活用については、あらゆる可能性を否定せず、取り組んでいくことが必要であると考えています。</p>